

Public Voices 声のらん



皆さんの「声」にお答えします。

《声のらん》では、「市長への手紙・ポスト」などに寄せられた声とその答えの中から、市民の皆さんの参考になる問答をご紹介します。(内容確認のため、連絡先と名前をご記入ください。)
【〒066-8686 / 東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課宛】

保育士の資格がありますが、ブランクが長いです。再就職できますか？ 「30歳代／女性」

声

子どもが好きで保育士になりましたが、出産と同時に退職。以来10年間子育てに奮闘してきましたが、2人の子どもも小学校高学年になり、来年4月からの再就職を考えています。ブランクが長く不安がありますが、そんな私でも再チャレンジできますか？

答

市は、市内の教育・保育施設の定員拡充と合わせて、教育・保育従事者の確保を進めるため、保育士の有資格者を中心とした、《合同就職面接・説明会》の開催と、《人材バンク》を設置しています。



合同就職面接・説明会(6月17日開催)

お答えします

こども政策課 こども政策係
☎(24)0341 FAX(22)8851

市は、「子育てするなら、千歳市」をキャッチフレーズとする子育て政策の一環として、保護者が働きながら子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。

園や保育施設などの子どもの受入定員を約200人拡大することを目指しており、同

時に、民間施設の保育従事者の確保支援を行っています。

施設事業者と就職希望者のマッチングの機会として、市とハローワークが共催する《保育士等合同就職面接・説明会》では、1日で同時に複数の施設面接を受けることができます。(次回開催日：12月9日◎予定)

また、市の《保育士等人材バンク》では、随時、有資格者の登録を受け付けており、平成26年12月の開設以来、現時点までの実績として、計33人の就職につながっています。

保育士の資格がある方で子育て中の方に関しては、仕事と子育ての両立ができる勤務形態での復職について相談可能で、長期間のブランクについても、各施設の経験豊富なスタッフが、丁寧な対応を行っています。

市内の保育現場では、保育士の確保が大きな課題です。眠っている資格や「保育への思い」を、ぜひ、千歳の子どものために役立ててください。



新市史下巻発刊に向けて

シリーズ第5回(全12回)

漁場から農地へ

長都沼の干拓

筆者・久原直利

市史編さん担当
☎(24)0523 FAX(42)3134



昭和31年の長都沼

市 街地から下流の千歳川両岸には、かつて湿地帯が広がり《長都原野》と呼ばれていました。湿地帯の中には大きな2つの沼があり、長都沼(オサットー)は面積3.9km²と、苫小牧のウトナイ湖の1.7倍もの面積がありました。沼にはフナやワカサギなどの魚が多数生息し、巨大なイトウもいたようです。長都沼の魚の缶詰は千歳の特産品でした。また、沼や湿地は洪水時の遊水地になっていました。

昭和16年、日米開戦がその後、長都原野の農地開発を目的とした国の事業によって排水路の整備が進められ、水位はますます低下し、43年ごろに長都沼は姿を消しました。土地改良が進み長都原野一帯は広大な農地となり、千歳の農業生産の向上に貢献しています。

近年、水害対策として遊水地の役割が見直され、千歳川流域では人工的な遊水地の整備が進められています。